

平成 24 年 (2012)

秋 号

# 中部地区会 *New*



発行／静岡県放射線技師 中部地区会

発行責任者／児玉 吉彦

編集者／橋本 隆

2012/10 発行

## もくじ



- 第 1 回胃がん検診エックス線  
撮影従事者講習会報告 . . . . . P 2
- 第 1 回放射線セミナー報告 . . . . . P 3
- 経過・報告 . . . . . P 4
- 会費納入のお願い . . . . . P 5
- ボウリング大会のお知らせ . . . . . P 6



# 平成 24 年度 第 1 回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会 開催される！

平成 24 年 9 月 15 日 (土) もくせい会館 参加者 33 名

## 【特別講演】

・「CTを用いた消化管画像診断技術(大腸を中心に)」東芝メディカルシステムズ株式会社 金原 明史 先生

## 【学術情報】

・「大腸CT用検査食について」 株式会社伏見製薬所 開発推進室 逢坂 和昌 先生

第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会が平成24年9月15日(土)、もくせい会館(静岡市葵区)にて開催された。

今回、2012年1月より診療報酬の加算が認められ、急速に普及しつつあるCT Colonography (CTC)を中心に「CTを用いた消化管画像診断技術」と題して、東芝メディカルシステムズ株式会社 名古屋支社 金原明史先生よりご講演いただいた。

最初にわが国における大腸がんの現状や問題点、従来の装置では「高画質撮影(薄いスライス)」と「高速撮影」のトレードオフが存在し、消化管のCT撮影が出来なかったが、急速なCTの進歩、とりわけ多列化により、高画質撮影と高速撮影の両立が可能となり、消化管のCT撮影が出来るようになったことを述べた。

CTCでは一回の検査でAxial像はもちろんのこと、MPR、VR、VEなど、またそれらを組み合わせたさまざまな画像を構築することができ、ワークステーションで観察することで死角のない検査が出来ることを述べた。

次にCTC検査に必要な前処置、腸管拡張、撮影および画像処理・解析について解説があった。まず、前処置だがタギング前処置法を用いることが多い。これは、少量の造影剤を飲み、残渣部のCT値を高くすることによりワークステーション側で削除する方法である。次に、腸管拡張だがカテーテルを用いて経肛門的に炭酸ガスを送気する。CTC用自動注入器により、腸管拡張におけるガス注入量の調整は「自動化」された。撮影は位置決めスキャンで大腸の拡張状態や残渣を確認する。本スキャンは仰臥位と腹臥位を撮影し、15分程度で終了する。画像処理・解析はワークステーションを用いて、仮想展開画像(VGP)と仮想内視鏡(VE)などを組み合わせて大腸粘膜全体を観察し、約30分程度かかることを述べた。

CTC技術の将来展望として、被検者の負担軽減のため新しい大腸CT用検査食の開発、最新被ばく低減技術により、低線量でも大腸粘膜面のノイズがほとんど見られない低線量CTCの実現などを挙げた。

大腸がんCT検診は遠隔読影を利用することにより、専門医による大腸CT画像の読影が遠隔地でも可能となる。さらにデータの持ち運びが無い読影結果が早いなどの利点があり、より効率的な大腸がん検診が可能となることを述べた。

最後に胃部におけるCT画像であるが、大腸がんは隆起型が大部分を占めるが、胃部は陥凹病変が多い。進歩したマルチCTでも浅い陥凹病変の描出はなかなか難しいものがある。従ってVEなどを利用して胃の粘膜を観察するというより、腔内の情報と壁外情報を同時に描出することにより、病変の性状や位置関係を観察出来ることの利点大きい事を述べまとめた。

清水厚生病院 飯塚 知幸

平成 24 年度

第 1 回 放射線セミナーが

開催されました！

平成 24 年 9 月 15 日 (土) もくせい会館 参加者 33 名

【特別講演】

・「外傷時の初期診断」

J A 静岡厚生連 静岡厚生病院 外科 松浦 裕司 先生



ABCDE アプローチ (A: 気道評価の確保と頸椎保護環境評価および蘇生と止血 D: 生命を脅かす中枢神経障害の評価 E: 脱衣と体温管理) に基づいて説明されました。

最後に、松浦先生が以前勤めていた救命救急センターの現場の写真を紹介しながら、実際に経験された症例について解説されました。会場に集まった人は松浦先生の話に熱心に聞きながらメモをとっていました。救命救急センターの診療放射線技師は、担当業務以外にも搬送や抑制などチーム医療の一員として第一線で活躍しているそうです。

藤枝市立総合病院 浜口 佳史

第一回放射線セミナーが開催されました。講師には J A 静岡厚生連 静岡厚生病院 外科の松浦裕司先生が招かれ「外傷時の初期診断」～JATEC～に沿ってと題してセミナーが行われました。

松浦先生は、はじめに、不慮の事故は、死因の中では 5 番目で 3～4 万人で推移し、10～20 代の死因の中では 1 番多くなり、交通外傷による死亡数は減少していると、外傷の統計について話をされました。

そして、外傷初期診療ガイドライン (JATEC) が作られた経緯に触れ Primary Survey について

B: 呼吸の評価と致命的な胸部外傷の処置 C: 循





## 経過報告

- 8月30日 第3回幹事会（静岡厚生病院）
- 9月15日 第1回 胃がん検診エックス線撮影従事者講習会  
第1回 放射線セミナー
- 9月19日 第4回幹事会（メール会議）
- 9月30日 静岡ふれあい広場参加



静岡ふれあい広場の様子

## 第3回 幹事会報告

日時 平成24年8月30日  
場所 静岡厚生病院

出席者 中部地区会幹事9名、県技師会副会長1名

- |                          |                          |
|--------------------------|--------------------------|
| 1 会長挨拶                   | 6 レクリエーションについて           |
| 2 県技師会より報告               | 7 第2回放射線セミナー及び胃ガン講習会について |
| 3 第1回放射線セミナー及び胃ガン講習会について | 8 退会希望者承認について            |
| 4 静岡ふれあい広場について           | 9 その他                    |
| 5 地区会ニュース秋号発行について        |                          |

## 第4回 幹事会報告

日時 平成24年9月19日（メール会議）

- |        |                           |
|--------|---------------------------|
| 1 会長挨拶 | 2 県技師会行事に参加した際の日当・交通費について |
|--------|---------------------------|

## 行事予定

11月17日(土) ボウリング大会

平成25年 3月 9日(土) 平成24年度中部地区会総会

第2回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会 もくせい会館